

1-3 1993年釧路沖地震について (I) —余震活動—

On the 1993 Kushiro-oki Earthquake (I) — Aftershock sequence —

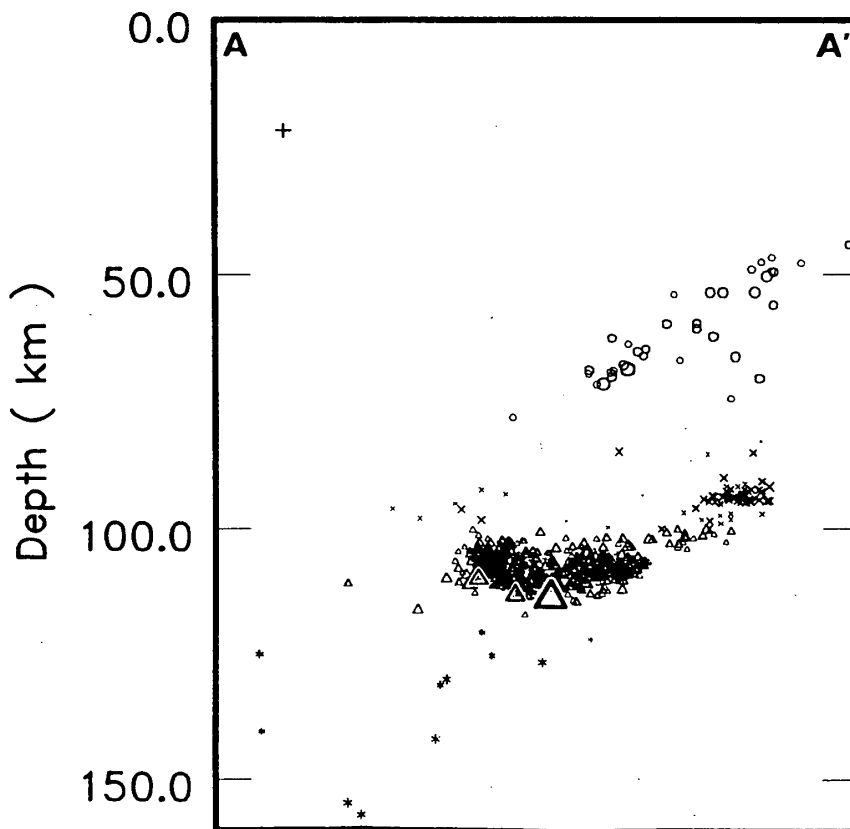
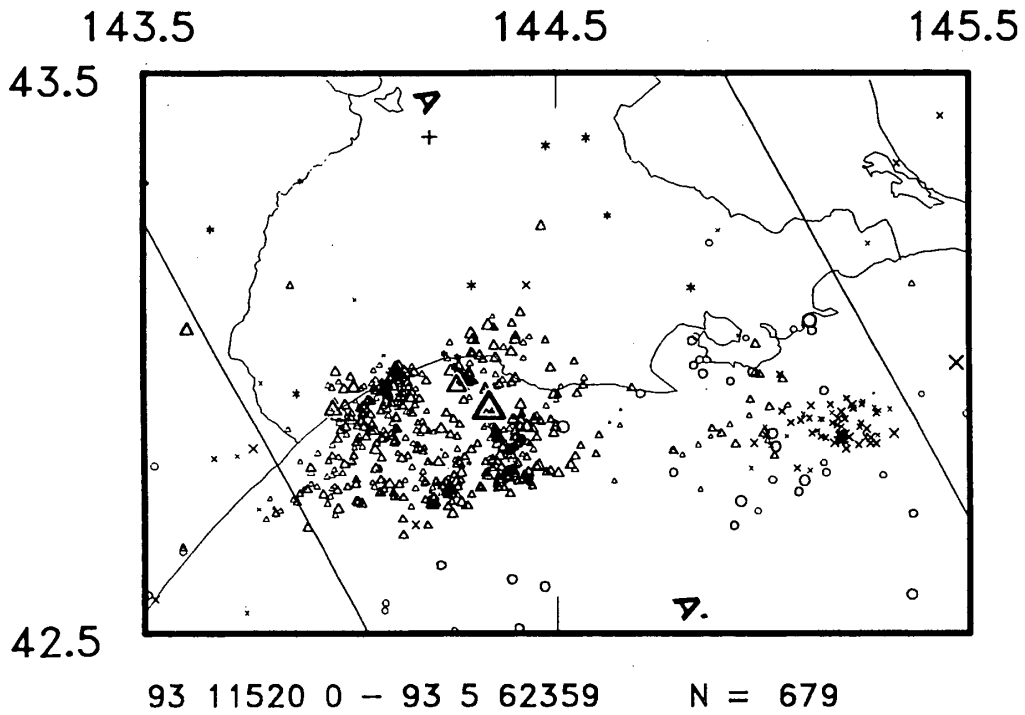
北海道大学理学部

Faculty of Science, Hokkaido University

1993年1月15日20時06分、釧路で震度6を記録するマグニチュード7.8の地震が釧路沖の深さ110kmで発生した。この地震により釧路地方を中心にかかりの被害が生じた。深さ110kmで発生したやや深発地震にもかかわらず、本震発生直後から多くの余震が観測された。

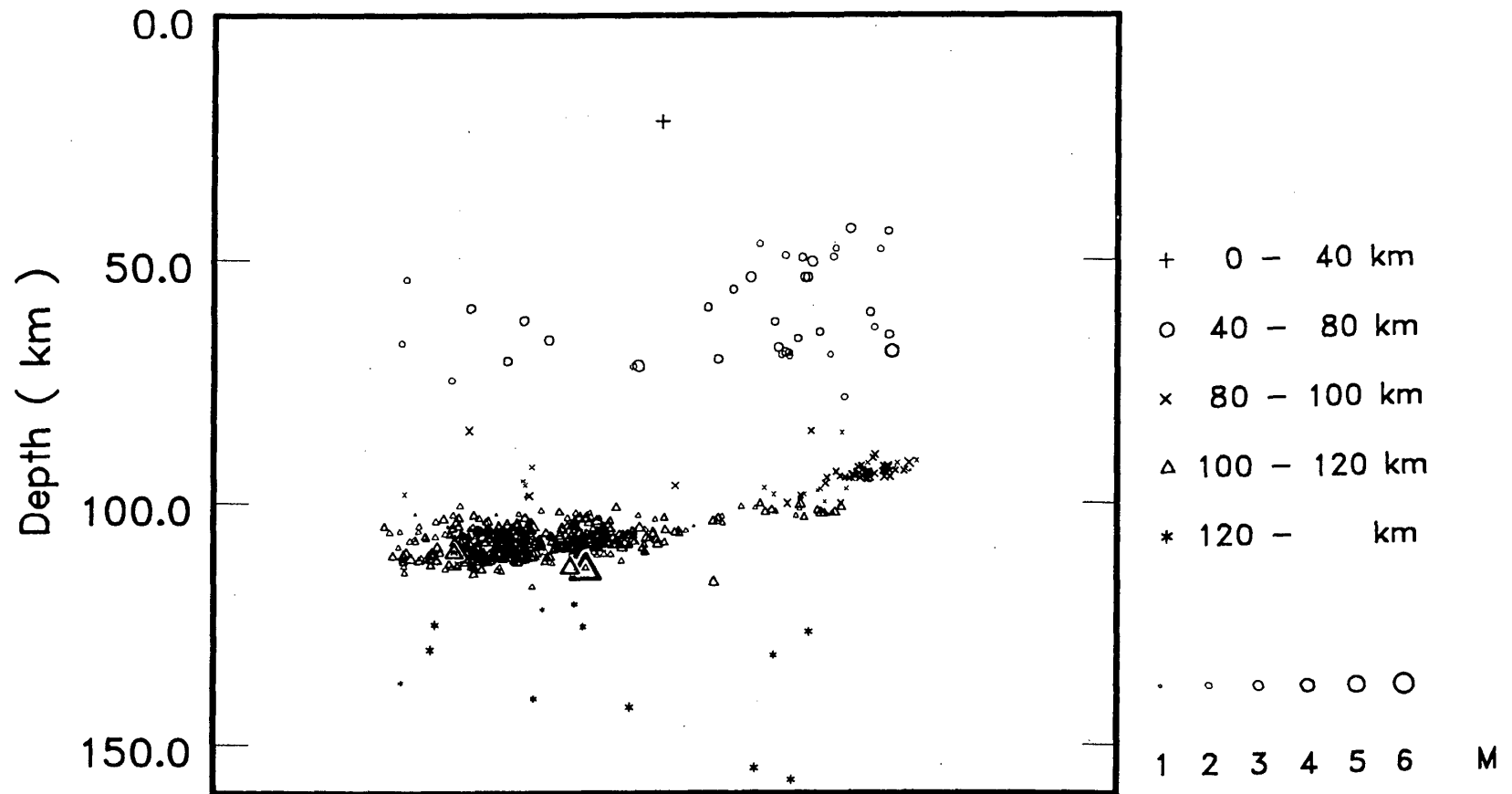
第1図に本震発生から5月6日までの釧路付近の地震活動を示す。第1図の上図が示すように余震は二つの集中域からなる。一つは本震付近（釧路沖）の集中域であり、もう一つは厚岸沖の集中域である。本震は釧路沖の集中域のやや東よりに位置している。このすぐ西側には北西-南東方向の走行をもった余震の空白域が確認できる。第1図の下図はA-A'にそった方向の断面図である。釧路沖の余震は二重震発面の間にほぼ水平に分布しているが、詳しく見ると本震を中心に逆への字型をしていることが分かる。一方、厚岸沖の余震は二重震発面上に分布している。第2図に第1図上図のA-A'と直交する方向での断面図を示す。これより、釧路沖の余震域は厚岸沖の下面側の余震域に続いていることが分かる。

第3～6図に釧路付近での地震活動を本震発生から一か月毎に示す。'93年4月の時点で一日あたりの余震数は1～2に減少しているが、この領域の定常的な地震活動に比べ依然高いレベルにある。

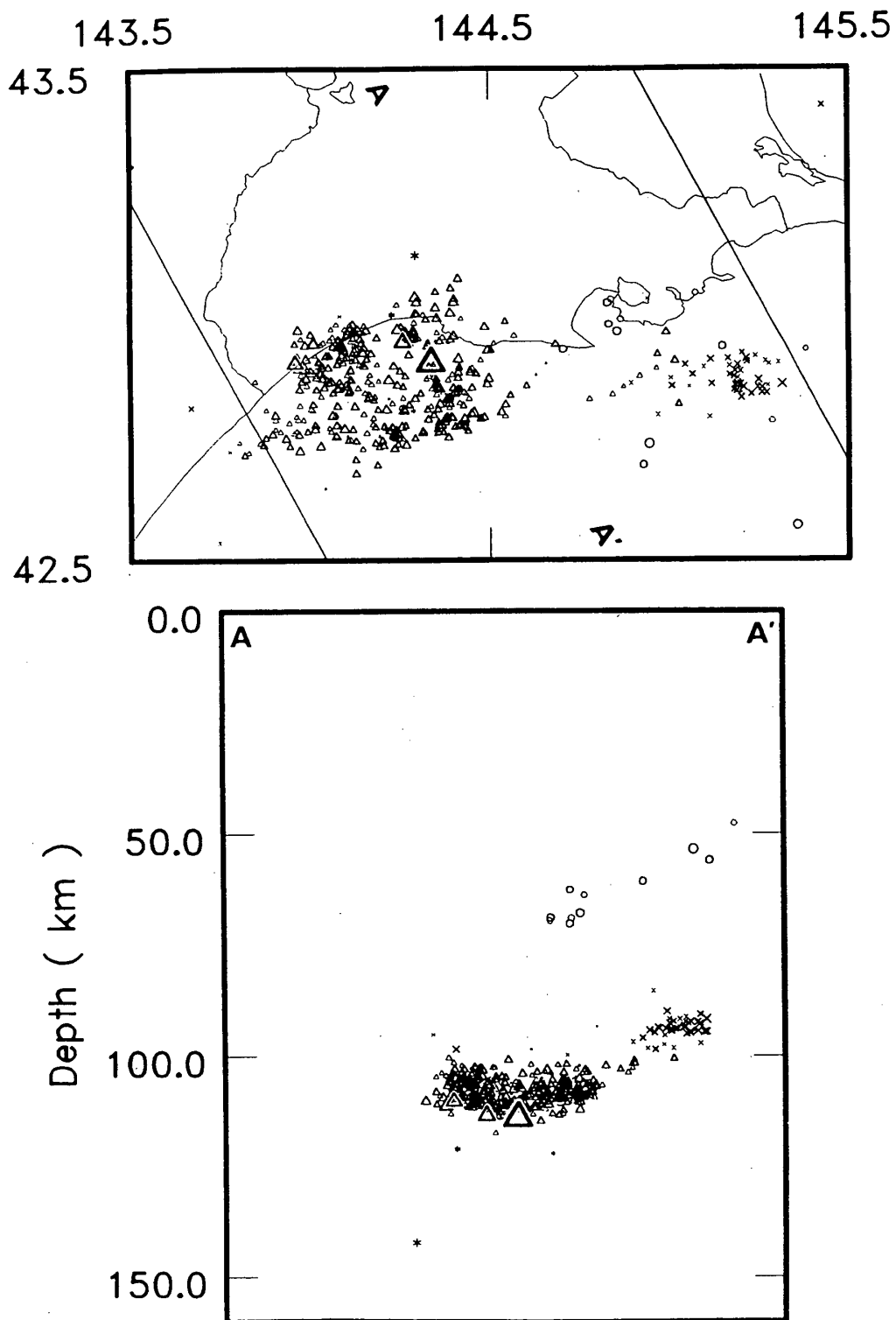


第1図 上図, 本震発生から5月6日までの余震分布 下図, A-A'での断面図

Fig.1 Top; hypocenter distribution during four months after Kushiro-Oki earthquake. Bottom; cross section along A-A'.

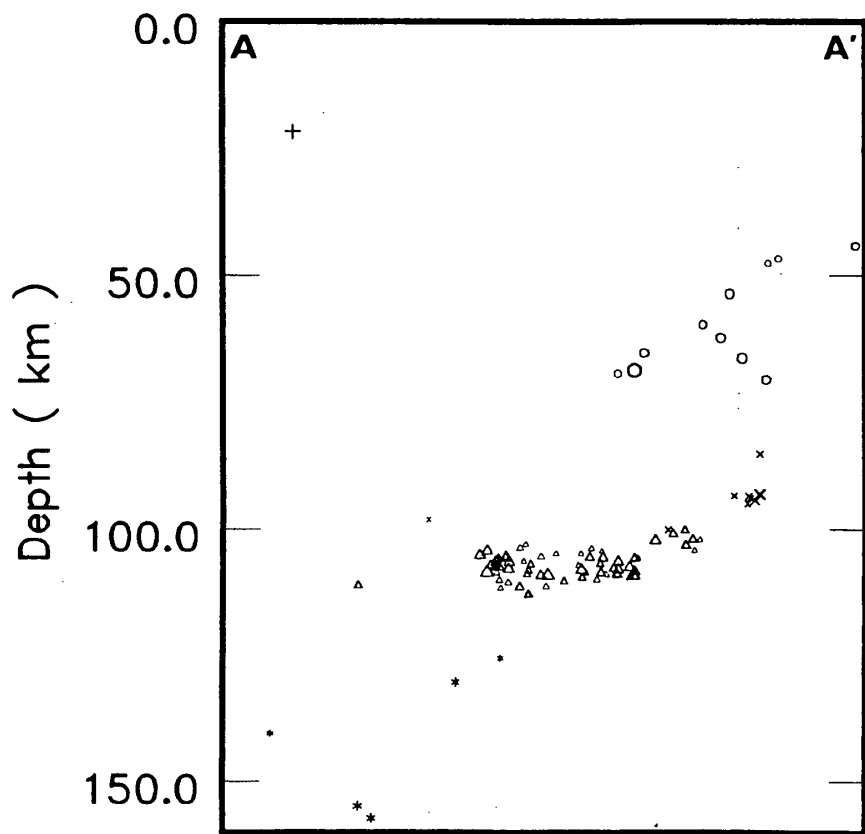
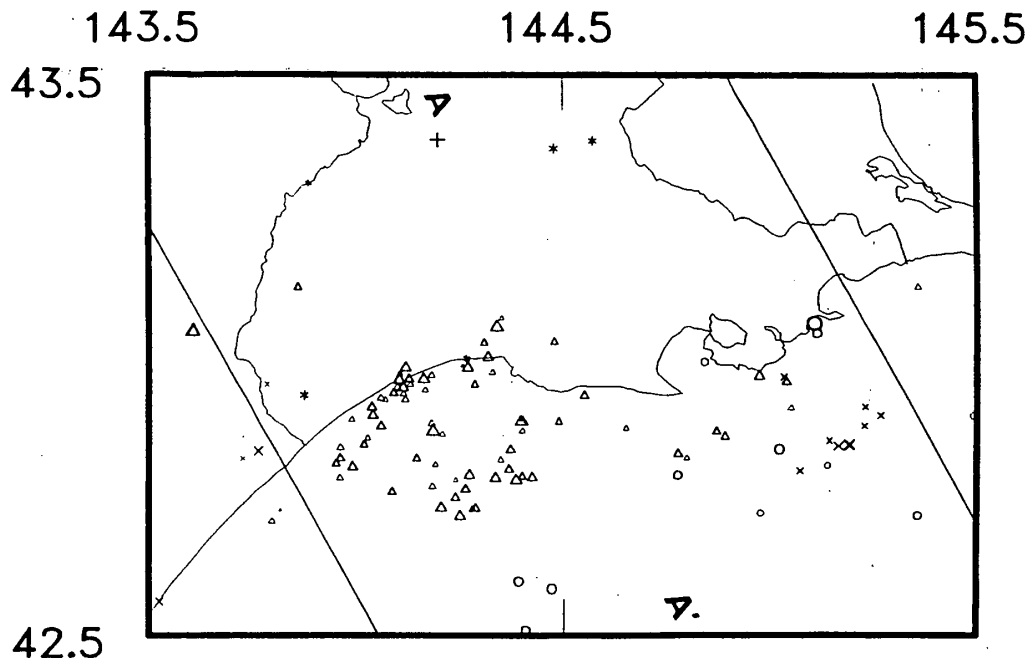


第2図 第1図上図のA-A' と直交する方向での断面図
 Fig.2 Cross section perpendicular to A-A' in Fig.1.



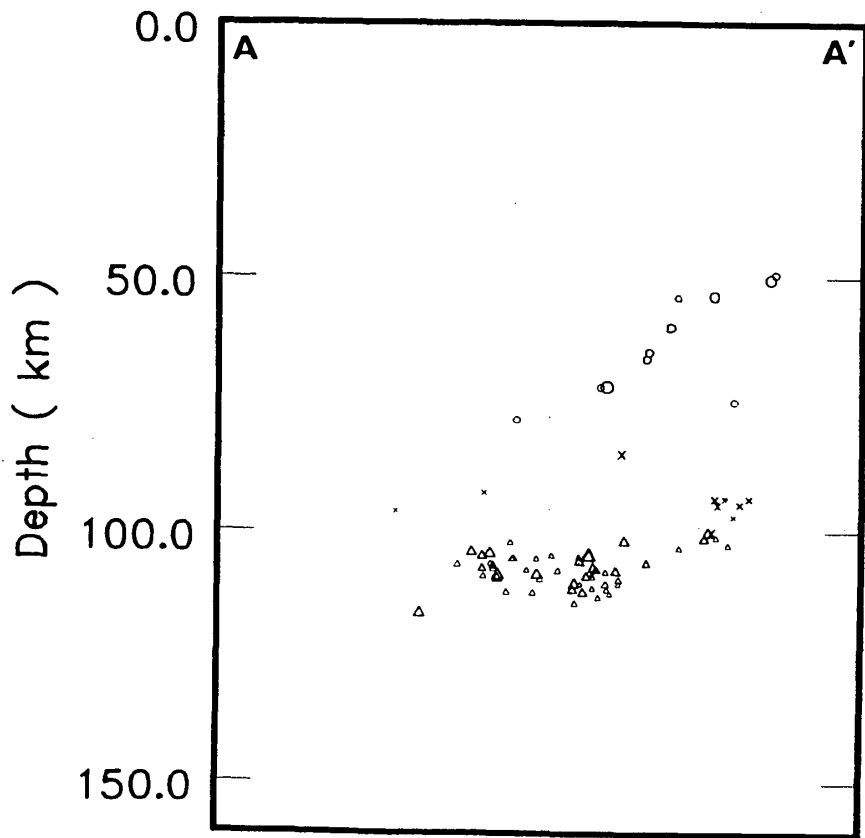
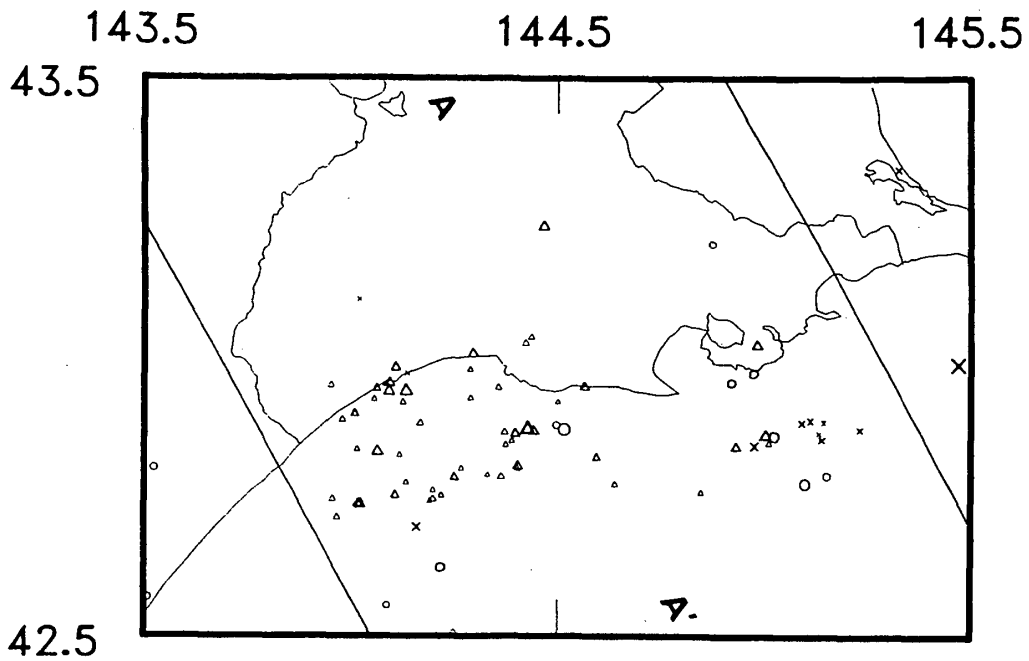
93 11520 0 - 93 2142359 N = 452

第3図 1月15日から2月14日までの釧路沖の地震活動
 Fig.3 Seismic activity off Kushiro from Jan.15 to Feb.14.



93 215 0 0 - 93 3142359 N = 98

第4図 2月15日から3月14日までの釧路沖の地震活動
 Fig.4 Seismic activity off Kushiro from Feb.15 to Mar.14.



93 315 0 0 - 93 4142359 N = 77

第5図 3月15日から4月14日までの釧路沖の地震活動
 Fig.5 Seismic activity off Kushiro from Mar.15 to Apr.14.